

お母さんの
ほっと一息
お手伝いします

萌

特定非営利活動法人
レスパイト・ケアサービス 萌
会報 No.36 2014. 8

波を乗り越えて

北村千賀

子育て中の夏休みは子どもと一緒に遊べるとっても楽しい思い出と、「早く来い、来い、二学期よ」と子どものエネルギーに負けてしまって、自分の思うようにならなかつたりすると声を荒げたりして、あとで自分が嫌になったことを思い出します。

最近ネットのブログを読んでいたら下記の言葉に出会いました。

紙面で皆さんと共に味わい、共に一緒に前を向いて歩いていけたらと思い、ご紹介し
ます。

「こんなときもある」

「ときどき何もかもがイヤになったり、何もかも投げ出したくなったりする。できないことが多くて、自分で情けなくなることもある。思った通りに全然いかなくて、落ち込むこともある。しかし…人間だから仕方ない。こんなときもある。こんな日もあるいつも、いつも頑張れないし、いつも、いつも元気ではいられない。こんなときには、ため息のひとつもついて、

『私ってダメだなあ…なんだかなあ…』などと思うのも悪くない。そういう自分も認めてあげないと、生きることが辛くなるような気がする」

自分が落ち込んでいる時、周りの人が幸せそうで、元気よく見え、自分のダメばかりが気になってしまいます。しかし、この言葉のように、ダメな自分をいとおしく、大切に思えるように気持ちを切り替え、周りを見ると、少し光がさしてくるよう思えます。

私自身、これからもきっと落ち込んだり、浮き上がったりと波を立てていくことでしょう。暑い夏の日差しの中で、その波を上手に利用して楽しんでいるサーファーのように、水しぶきを受けながら波に乗って進んでいきたいものです。



講演会報告

平成26年5月24日（土）15時～17時 会場ガッツビーと西にて

「日々思うこと」

～チイキ生活支援、居宅介護、ショートステイ、
他職種連携、ネットワーク、相互主体、etc…～

講師 李国本修慈先生

◎「有限会社しえあーど」代表

居宅介護（重度訪問介護・行動援護）・移動支援・日中一時支援・（指定）相談支援・短期入所・訪問看護

◎「NPO 法人地域生活を考えよーかい」代表

その他…移送・自費サービス・地域活動などなど



とにかくなんでも障害の程度や有無なんて関係なく、2つの法人で誰もがご機嫌に！

あたり前に居る（おる）…という思いを大切に活動されています。

利用される方は、保護する存在ではなく、あたりまえに誰にでもある主体を大切にし、その人を中心とした支援ができるよう活動されています。

「普通に暮らすこと」ということを意識して、ともに生活されている様子を話してくださいました。（…彼等から沸き起こってくる「普通感」??を私たちにも一緒に…という思い）季節の行事や誕生日会や日々の食卓の様子を交えて紹介してくださいました。どの写真も利用者さん、スタッフの皆さんがイキイキして楽しそうな表情をされていました。しえあーどの建物の様子…普通の「おうち」という印象でした。李国本先生もそこで寝食をともにされているとのことでした。（晩酌もみなさんで楽しまれているようです）

超重症児などといわれる彼等たちの普通って…

⇒彼等の力にぜんぜん追いついていない福祉・医療・地域・社会の現状…

重症心身障害といわれる方々にとっての「普通」は、おそらく財源だとかの問題もあるのですが…、それ以上に医療及び他職種を含めた暮らしへの寄り添い、地を這うような低飛行というか…、まさにひと昔前にさかのぼったような地に根ざした魂が必要…

医療ニーズの高い方たちがあたりまえに、集える場所であること、ちゃんと交える人がいること—彼女・彼等の…と言えるスペースにそれはきっと広さや大きさや位置だとかではなくって…暮らしを支える活動をつくりあげていくために…何より、どなたにも在る命の価値、存在価値をしっかりと示す事による社会意識の変革かと…なかなか難しいのですが…諦めず…

とのことでした。 【高橋】



この日は嬉しくも4家族参加してくださいました。お家での顔とちょっと違った面持ちのご利用者さんたち。先生のお話の中で写真出演のあったお子様もいらっしゃいました。

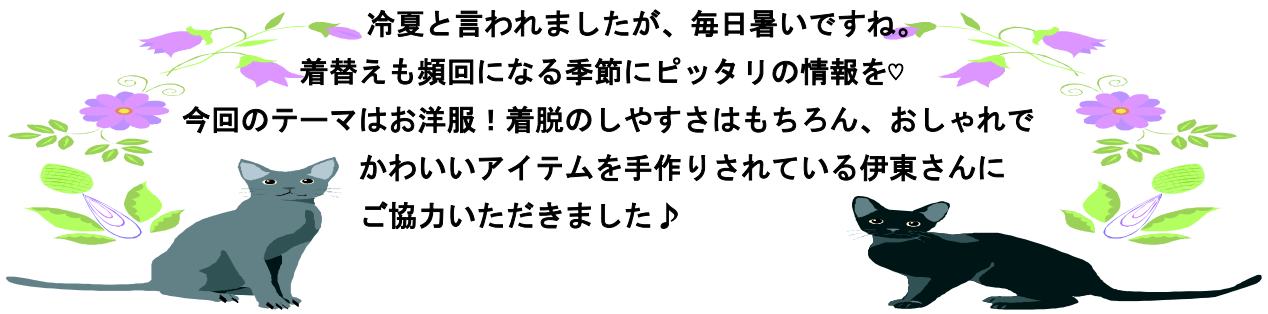
講演の後、ママ同士の交流している場面や先生のやさしい感じとすてきな活動のお話の後というのも相まって、こういう雰囲気っていいなと感じました。

参加したお母さまから「でかける機会をつくってもらい、〇〇ちゃんも兄弟も嬉しそう。先輩ママと直接話したわけではなかったけど、そこにいてくれるだけで安心というか勇気もらった」とお話してくださいました。

ご家族が“行けばなんとかなる、そこで楽しめる時間がある、行く場所がある”と思える場所があるというのがいいなと感じました。また、高校を卒業された萌の利用者さんのお母さまはお出かけの可能性をひろげようと活動されていると伺いました。講演を通していろいろなつながりを感じ、横浜の地でもどんな方でも在宅生活を“ご機嫌に過ごせる”支援を続けていきたいとあらためて感じ取れる講演でした。【桑原】



おしゃべりコーナー



冷夏と言われましたが、毎日暑いですね。

着替えも頻回になる季節にピッタリの情報を♡

今回のテーマはお洋服！着脱のしやすさはもちろん、おしゃれで
かわいいアイテムを手作りされている伊東さんにご協力いただきました♪

訪問でお邪魔するたびに「おおー！」と歓声を上げてしまう素敵なお仕立のトレーナーや肌着のリフォーム。伊東孝介くんモデルとして登場してもらいつつ、お母さまにお話を伺いました。



気管切開の為、衿ぐりの真ん中を切って開けました。
トレーナーの柄にかからないように、衿ぐりから脇にかけて前開きになるようにしました。

ボタンだとトレーナーを引っ張った時にちぎれてしまうので、スナップをつけて外れ
てもすぐ留められるようにしました。



肌着の真ん中を切って前立てをつけ、前開きにしました。



【伊東孝介くん お母さまより】

一緒につくりたい方や作り方を教えてというかた大歓迎です。

お忙しくてなかなか、という方は前立ての加工を有料でお引き受けいたします♡

詳しくは、萌スタッフにお問い合わせください



萌のとある一日

萌の事務所が現在のビル3階に移転して、2回目の夏です。片面一面が窓で、暑い眩しい陽光を浴びながら、仕事をしています。

月曜日 9:30頃、代表理事+常勤スタッフで今週の勤務の確認などをします。10:00から、全てのスタッフによるカンファレンス。看護師ヘルパーみんなで、利用者さん一人一人について先週の様子や、どんな支援をしていこうかなど、情報交換をします。先週〇〇ちゃんは風邪気味だったけど、元気になっているかな。〇〇ちゃんと今週はどんなところに行こうかな、などなど…最近の利用者さんの数も増えカンファレンスが12時半を過ぎることもしばしばです。

また、勉強会に参加したスタッフから、勉強してきた内容の報告があったりして、新しい情報に触れる事もあります。

カンファレンスが終わると、みんなで昼食タイム。

手作りのお弁当、コンビニ弁当…午後の訪問までのひと時、ゆっくり食事をしながら、世間話に花を咲かせ、またカンファレンス中に話し足りなかったことを話したりもします。

コーヒー飲んでお菓子を食べて一息入れて、さて、歯磨き。もう出かけなくちゃ。携帯忘れないでね!

窓の外は真っ青な空。

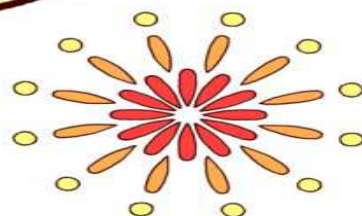
さあ、今日も子どもたちに会いに出かけます。



平 あゆみ

🍉🎤🌸🍉🎤🌸🍉 スタッフ紹介 🍉🎤🌸🍉🎤🌸🍉

今年の五月から働かせていただいています、楠原陽子です。今までは都内の総合病院の小児病棟で働いており、出産、育児を経て、一年前から地域で小児に関わる仕事がしたく、訪問看護をしています。萌さんとの出会いは、周りからの口コミや色々な偶然でした。働き始めてみてから、子ども達がとっても素直で可愛くて、慣れない私に色々教えてくれ、毎回訪問する時間が楽しみです。また、お母さん方や一緒に働くスタッフの方々もバラエティーに溢れ、皆さんとてもパワフルで、びっくりすることもあります。萌さんファミリーはすごいなあと思うことが沢山あります。こんな新参者ですが、これからどうぞよろしくお願いいたします!



お知らせ

総会報告

平成25年5月24日(土)13:00~14:20
地域活動ホーム ガッツビーと西 地域交流室スカーレットにて開催された。

出席者数 正会員25名中 出席者16名、委任状8名 欠席1名で総会開催定足数2分の1を満した。

松谷由紀子さんの司会で北村千賀代表理事の挨拶があり、萌への思いが語られた。議長は溝田涼子さんが選出され、議事が進められた。

第1号議案 平成25年度事業報告

第2号議案 平成25年度収支報告および
会計監査報告

第3号議案 平成26年度事業計画

第4号議案 平成26年度収支予算

第5号議案 役員を選出

以上全員の承認を得た。総会終了後、今後の萌の在り方等の意見交換を行い懇談の時を持った。

平成26年度会員募集

平成26年度の会員を募集いたします。ご協力をお願いいたします。利用者様ご家族には毎年会員登録をし『萌』をご利用くださるようお願いいたします。

◆正会員 年会費 10000円

原則として誰でも入会できます

総会に出席し議決に参加することができます

◆賛助会員A 年会費 10000円

会の活動に賛同、利用する個人または団体

◆賛助会員B 年会費 3000円

会の活動に賛同、利用する個人または団体

郵便局振込口座記号番号 00230-5-111338

加入者名：NPO法人レスパイト・ケアサービス萌

編集後記・会報係自己紹介

☆悪戦苦闘！少しは苦手なパソコンと文章構成が出来るといいなあと思いながら始めました。

(桑原)

☆今年度、会報係をさせていた
だく事になりました。アナログ
人間の私ですが少しでもデジ
タル化できるように会報を通
じて進化していきたいと思いま
す。萌の想いがたくさん詰まっ
た6ページが皆様の心に届き
ますように。(鈴木)

☆今年も会報係です。毎日暑さ
と戦っています(笑)、私も会
報も潤っていききたいと思いま
す。(赤津)

☆赤津さんに引き続き、今年も
会報係です。会報のなかでも
明るく元気に頑張っていきたい
と思います(後藤)

☆久しぶりに会報係に復帰し
ました。ちよつとドキドキで
す。読んで、見て、感じて、楽
しんでいただけのものをつくっ
ていきたいですー今年もどう
ぞよろしく願います。
(平)

「萌」 No.36 2014.8.

編集・発行 特定非営利活動法人 レスパイト・ケアサービス萌

代表理事 北村 千賀

〒220-0061 横浜市西区久保町4-1-2 三ツ矢ビル3階

TEL: 045-231-1681 FAX: 045-231-1682

E-mail: respite-moe@titan.ocn.ne.jp

<http://npo-respitemoe.houmon.shafuku.com>

